

はにい

スピーチ

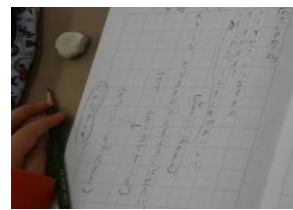
平成26年1月27日

(すべて仮名です)

「わたしの夢は、ケーキ屋さんです。」

週1回のスピーチの時間が始まりました。

まだ2年生ですが、ノートにメモをとりながら聞いていて、スピーチの後、質問をしていました。



この小学校では、1年生から6年生まで、全学級でこのスピーチ活動を行っています。話す、聴くの学習と同時に、個性を認め合い、励まし合えるあたたかい雰囲気作りを目指しています。

児童の実態として、

「自分に自信がもてない」

「自己表現が上手くできないために、人間関係が上手く築けない」

「粘り強さがなく集中力が続かない」

といった子どもたちがいる。そして、その根底には自己肯定感の低さがあるのではないか、と先生方は考えました。

わずか30人のクラスとは言え、子どもたちには緊張するスピーチです。この緊張感の中でスピーチを成功させ、仲間に認めてもらうことで、その自己肯定感を育むことをねらっているのです。

そのために、スピーチの準備は先生と一緒に時間をかけて行われます。

3年生からは、スピーチの後、2人が選出されて「言葉のキャッチボール」という対話をします。

「ナオミさんが作ったキーホルダーをおばあちゃんにあげて、喜んでもらえて良かったと思います。タツジさんはどう思いますか。」

「僕もそう思います。ナオミさんはそういうのが得意だから、そのキーホルダーもきっと上手にできたんじゃないかと思います。」

スピーチをした子もうれしそうに「言葉のキャッチボール」を見えています。



かながわ元気な学校づくり通信 『はにい』は、
学校が元気になるように・・・

先生の仕事を受ける

学校に携わる大人たちがしていることを受ける

そして、子どもたちの育ちを受取る

そんな、コミュニケーションツールです。 みんなで語り合しましょう。

専用メールアドレス： inochi4027@pref.kanagawa.jp